

令和8年度 府立学校実習教員研修（家庭） 実施要項

- 1 目的 担当教科・科目に関する知識及び実験・実習を安全かつ効果的に行うための工夫や準備についての理解を深めるとともに、教育職員として求められる資質と能力の向上を図る。
- 2 対象 高等学校及び支援学校（高等部）の実習教員

募集人数 20名

3 日時等

| 回 | 日時 | 主題等 | 講師等 |
|---|------------------------|--|---|
| 1 | 8月4日（火） 14:00～17:00 | 被服実習に関する基礎・基本を学ぶ ーミシン、ロックミシンの基本的な扱い・ メンテナンス方法についてー 施設・設備の安全管理と学習環境の整備 〔講義・演習・協議〕 | ジャノメミシン 点検技術員等 大阪府教育センター 指導主事等 |

- 4 会場 府立阿倍野高等学校（大阪市阿倍野区阪南町1丁目30番34号）

Osaka Metro 御堂筋線「昭和町」駅下車、西へ約350m
Osaka Metro 谷町線「文の里」駅下車、南西へ約500m
阪堺電気軌道上町線「松虫」駅下車、東へ約500m

- 5 その他
- (1) 受付は30分前から。
 - (2) 来所時には、所属名・名前の入った名札を着用すること。
 - (3) 研修会場に、自家用自動車・バイク等の駐車はできません。
 - (4) (受講決定後～当日) Plant で、事前連絡や課題等がないか確認すること。
 - (5) 問い合わせ等は、大阪府教育センター高等学校教育推進室（06-6692-1882）まで行うこと。
- 6 担当室 高等学校教育推進室

令和8年度 府立学校実習教員研修（家庭） シラバス

1 目的

担当教科・科目に関する知識及び実験・実習を安全かつ効果的に行うための工夫や準備についての理解を深めるとともに、教育職員として求められる資質と能力の向上を図る。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

| OSAKA 教職 スタンダード | 共通の指標 | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|
| | Ⅰ | | | Ⅱ | | | Ⅲ | | | Ⅳ | | | Ⅴ | | |
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 第4期 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第3期 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第2期 | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| 第1期 | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| 第0期 | | | | | | | | | | | | | | | |

3 研修の主題とねらい等

| 回 | 主題 | ねらい | 内容 | 準備物・事前課題 |
|---|--|--|---|---|
| 1 | 被服実習に関する基礎・基本を学ぶ ーミシン、ロックミシンの基本的な扱い・メンテナンス方法についてー | ミシンとロックミシンの基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるとともに、実習を円滑に進めるために必要な技能を身に付ける。 | 講義、演習を通して、被服実習に関する基礎的・基本的な知識を学ぶとともに、ミシンとロックミシンの基本的な扱い方やメンテナンスの実習、製作実習を行う。 | |
| | 施設・設備の安全管理と学習環境の整備 | 被服実習を安全かつ効果的に進めるための施設・設備の管理、学習環境の整備について理解する。 | 安全に配慮し、効果的に被服実習を進めるための注意事項や具体的な方法について学び、工夫や配慮が必要な場合の対応について協議や情報交換を行う。 | 事前課題 自校の被服実習室の使用方法、施設設備の安全管理、学習環境の整備に関する協議用レポート |